

小中一貫教育だより

川島町教育委員会教育総務課
学校統合推進室 坪内・市川
No.4 令和5年11月発行

★「PTA」・「学校後援会」の在り方について、方向性を検討

今年4月から始まった、つばさ南・つばさ北小学校の統合にかかる協議では、つばさ南小学校とつばさ北小学校が統廃合し、令和7年度に、新しい統合小学校「つばさ小学校」が川島中学校地内に設置されると、小学生たちと中学生たちが、また小学校の先生たちと中学校の先生たちが、同じ場所で活動を共にするから、保護者や地域の方々も「小・中学校の隔てなく一緒に活動できると良いのでは」あるいは「これを機に、保護者や学校の教職員の負担軽減が図れると良いのでは」といった意見が出てきました。

このようなことから、つばさ南小学校・つばさ北小学校・川島中学校のPTA及び学校後援会は、それぞれ一緒になって、令和7年度からの方向性について、協議・検討を進めてきました。

◆「PTA班」での協議検討、令和7年度からのPTAの方向性

これからのPTA運営は、これまでの踏襲でなく、実効性と負担軽減の両立が求められています。このことを踏まえ、学校統合を機に見直しと改革の視点で、各校のPTA会長・役員の方々、校長先生・教頭先生が話し合いました。

この結果、次のような方向性に意見がまとまっています。(令和5年9月現在)

- (1) 令和7年度には、「統合小学校(つばさ小学校)PTA」と「川島中学校PTA」は、別々の組織でスタートする。
- (2) 「つばさ小学校PTA」と「川島中学校PTA」の統合は、令和7年度以降の状況等を見ながら、改めて検討する。
- (3) ただし、資源回収など小・中学校PTA合同で取り組んでよい事業を検討する。
- (4) 会員の負担を軽減するため、小・中学校PTAともに、組織・業務を見直す方向で、検討を進める。

◆「後援会班」での協議検討、令和7年度からの学校後援会の方向性

学校にとって後援会があることは、町の配当予算以上に支出が可能であるといったメリットがある一方で、会費の集金方法や活用方法に関して地域から不満の声や、後援会運営にかかる教職員の負担が大きいといったデメリットがあります。このような視点から、各校の後援会長・役員の方々、校長先生・教頭先生が話し合いました。

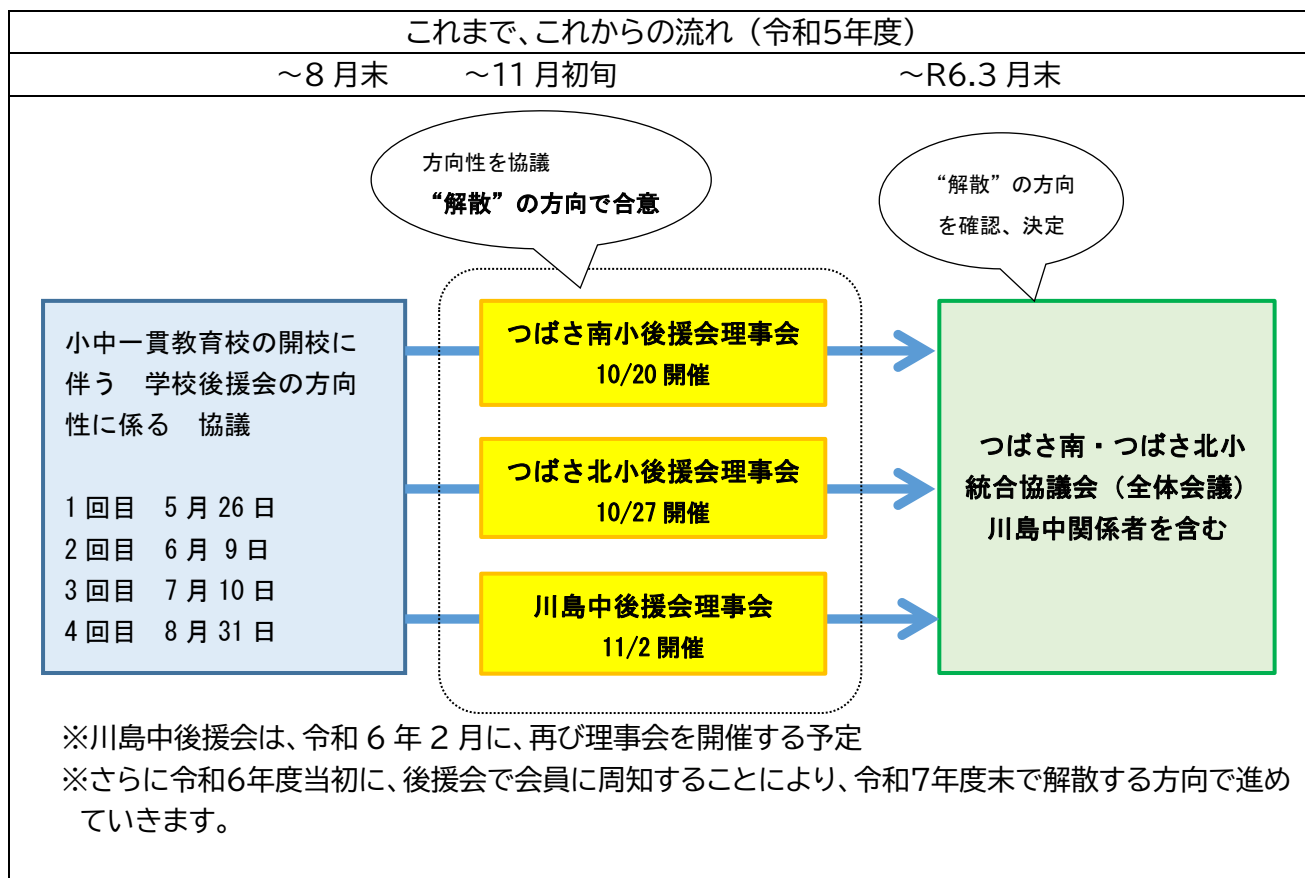
この結果、次のような方向性に意見がまとまりました。(令和5年11月現在)

令和6年度末で、

つばさ南小・つばさ北小・川島中の各学校後援会は、

解散する方向で進めていきます。

また引き続き、つぎの流れで協議を進めていくこととしています。



担 当：教育総務課 学校統合推進室 坪内・市川
電 話：049-299-1730
Email：gakkou@town.kawajima.saitama.jp